

ホーム > ニュース >

理研ら共同研究G 生産現場データを大規模解析 農薬などの削減に

環境総合

化学物質

研究・技術開発

理研ら共同研究G 生産現場データを大規模解析 農薬などの削減に

2026/01/29

掲載

有料会員記

事

記

事を
保存

記

事を
印刷

メー
ルで
共有

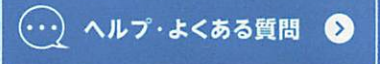
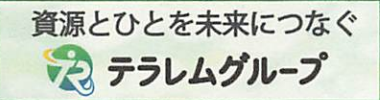
理化学研究所(理研)、福島大学、東京大学大学院、北海道大学大学院、大阪府立環境農林水産総合研究所らの共同研究グループは、日本各地の温州ミカン生産者の圃場から直接収集した「リアルワールドデータ」を用いて、農薬や肥料の使い方の違いが、果樹園の土壌や微生物、果実の品質に与る影響を大規模なデータ解析によって調査し、農薬や肥料の使用量削減が環境保全効果をもたらし得ることなど、重要な知見を得た。

全文を読むには**有料プランへのご登録**が必要です。

記事本文残り81%

続きは**有料会員にお申し込み**いただいた後、
記事をお読みいただけます。

- ・「有料会員」になると購入手続き不要です**すべての記事**を閲覧できます。
- ・新聞購読者の方はお得な「プレミアム会員」



イベント案内 一覧

2026-2-24(火)開催/国土交通省ら
「空のカーボンニュートラル」...

2026-02-18(水)開催/実行委員会
地方自治体インフラAXサミツ...